# 平成13年度秋サケ資源調査

植村　康

## 調査目的

青森県太平洋沿岸に来遊する秋サケ資源の来遊経路及び漁場特性を把握し、今後の秋サケ資源の適正な管理及び漁業調整施策の資料とする。

## 調査の内容と方法

東通村白糠から階上町の太平洋沿岸漁協所属の漁船（10トン未満の漁船で委託期間は平成13年10月から平成14年1月まで）に試験操業を委託し、はえなわ漁法（1操業当り15鉢以内、1鉢：100m以内で約35本の針が装着されている）によって図1に示す調査海域内でサケ分布状況・移動回遊等（標識放流）について調査を実施した。調査海域は緯度経度概ね5分毎に区切り、主な調査海域については番号を付した。

## 調査結果及び考/察

平成13年度のはえなわ調査委託船の調査概要を表1に示した。実際の操業隻数は委託隻数65隻に対し28隻であった。延べ出漁日数は81日、延べ使用鉢数188鉢、総漁獲尾数90尾、水揚げ金額は91,470円であった。委託隻数は昨年より減少した。平成13年度は試験操業の目的を説明し、調査への理解を得るための現地説明会に漁業者が出席することを委託する条件としたためである。しかし、出漁隻数は昨年より増加した。操業する意欲のある漁業者が残ったと考える。延出漁日数も増加した。漁獲尾数は昨年度よりも大幅に減少し、過去最少であった。

調査海域ごとの試験操業回数を図2に示した。本年度から漁獲が伴わない操業や魚群探索を行っても魚群を確認できず投針しなかった場合も試験操業の回数に加えた。操業の全てが南部海域で実施され北部海域は皆無であった。操業回数が多い海域は、43、48、49の3海域で、全体の操業回数の47%を占めた。これは例年とほぼ同海域であった。実際に漁獲があった海域は36、37、41、43、48、49の6海域であった。43、48、49の3海域は操業回数の多い海域と一致するが、36、37、41の3海域は操業回数の少ない海域で漁獲が行われ、漁期も12月中旬から1月中旬と遅く、11月下旬から12月上旬に集中した漁期と外れている。漁場も沿岸部であった。

図3に海域別CPUE（一鉢当り漁獲尾数）を示した。漁獲があった10件のみで計算した。CPUEが3を超えた海域は無く、昨年に比べても低いCPUEであった。

図4に海域ごとの標識放流尾数を示した。12尾放流されたが再捕報告はなかった。青森県太平洋沿岸に来遊する秋サケ資源の来遊経路を確認するための標識放流は本調査の根幹をなすものであり、現地説明会においてもその重要性を説明し、漁獲尾数の1割を目安に1人あたり10尾まで行うよう要請したが、一部の漁業者は全く標識放流を行っていない。このような状況では試験操業の目的を達成できず、試験操業を継続する意義があるのか疑問である。昭和61～平成13年度の16年間で2,560尾の放流で86尾再捕され、再捕率は3.4%と低い。県内再捕尾数は32尾で37%であり、青森県内での再捕割合を増やすことが今後の課題である。

表2に昭和61年から太平洋において実施してきた秋サケはえなわ試験操業の実施状況一覧を示した。当初7隻で始まった試験操業は、平成11、12年には委託隻数108隻と過去最多となったが、実操業隻数は前年より減少した。平成13年度の委託隻数は前年から大幅に減少し、65隻となった。しかし、出漁隻数、延べ出漁日数共に前年度より増加した。だが、秋サケ延縄漁業の対象となる、まとまった魚群が来遊しなかったため、漁獲尾数は過去最少となった。現在の資源状態では、秋さけ延縄漁業は経営的に成り立たないと考えられる。

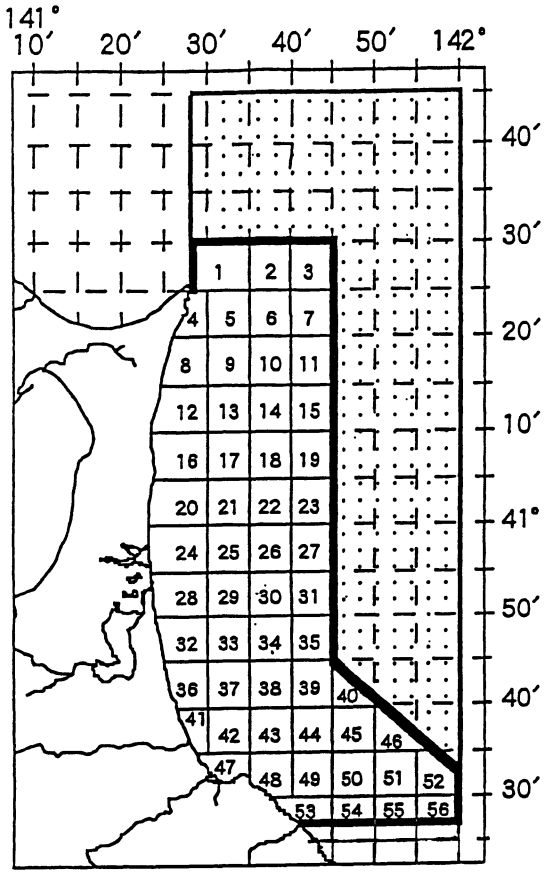


図1　試験操業海域図

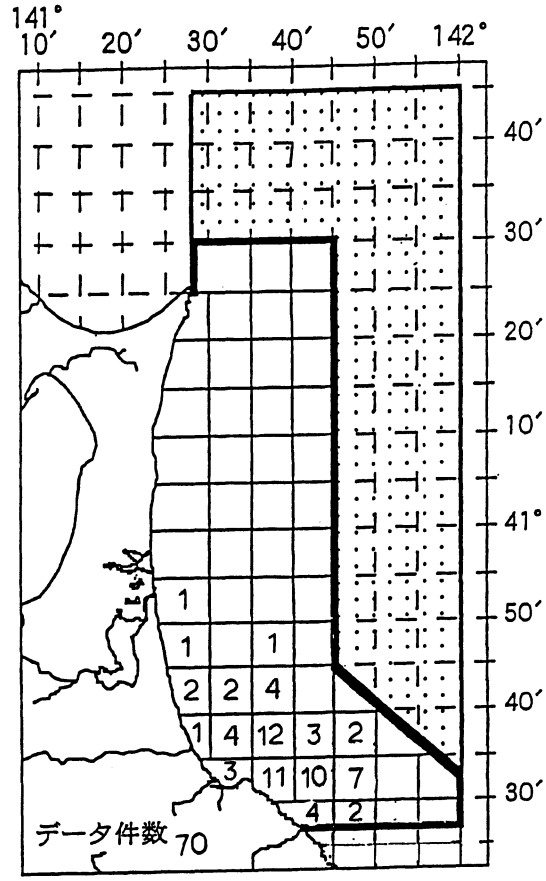


図2　海域別操業回数

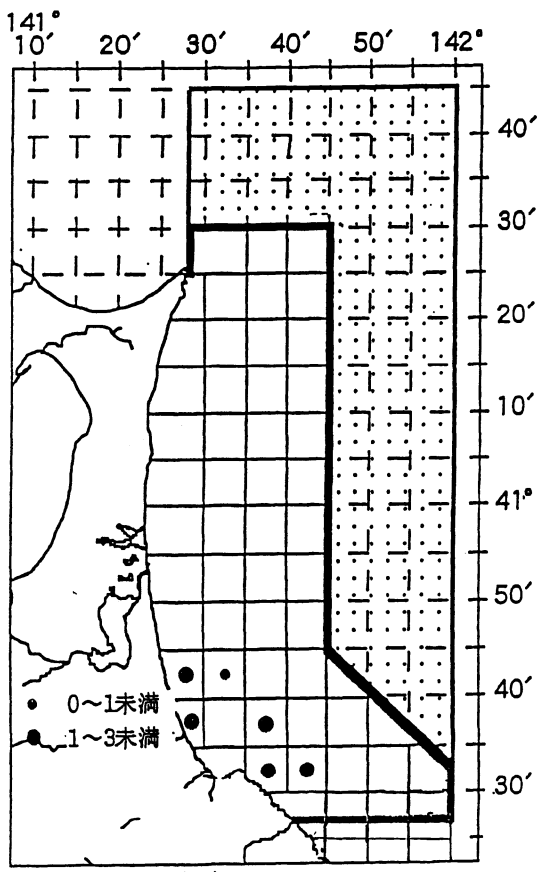


図3　海域別CPUE

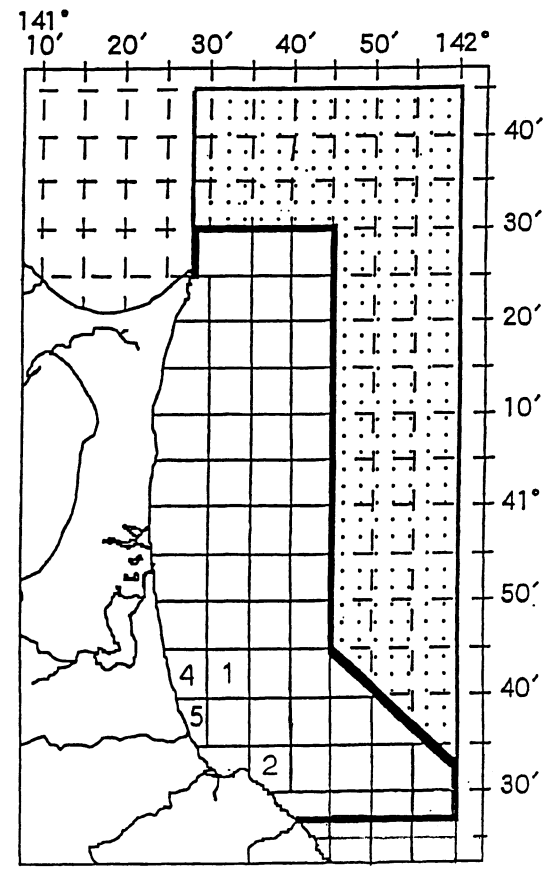

表1　平成13年度試験操業概要　　単位:隻、日、鉢、尾、円

| 漁協名 | 委託隻数 | 出漁隻数 | 出漁期間 開始日 | 出漁期間 終了日 | 延出漁日数 | 延使用鉢数 | 漁獲尾数 | 放流尾数 | 水揚金額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 白糠 | 6 | 0 | | | | | | | |
| 泊 | 10 | 1 | 12月19日 | 12月25日 | 3 | - | - | - | - |
| 六ヶ所村 | 1 | 0 | | | | | | | |
| 六ヶ所村海水 | 1 | 0 | | | | | | | |
| 三沢市 | 2 | 2 | 12月3日 | 1月18日 | 9 | 19 | 10 | 10 | 0 |
| 八戸鮫浦 | 18 | 18 | 11月17日 | 12月27日 | 37 | 113 | 1 | 0 | 0 |
| 八戸市南浜 | 17 | 5 | 11月20日 | 12月5日 | 14 | 32 | 40 | 0 | 51,610 |
| 階上 | 10 | 2 | 11月18日 | 12月6日 | 18 | 24 | 39 | 2 | 39,860 |
| 合計 | 65 | 28 | | | 81 | 188 | 90 | 12 | 91,470 |

表2　秋サケ延縄試験操業実施状況

| 年度 | 昭和61年 | 昭和62年 | 昭和63年 | 平成元年 | 平成2年 | 平成3年 | 平成4年 | 平成5年 | 平成6年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 委託隻数 | 7 | 18 | 38 | 56 | 64 | 64 | 101 | 86 | 94 |
| 出漁隻数 | 7 | 13 | 30 | 37 | 40 | 26 | 39 | 41 | 46 |
| 延出漁日数 | 81 | 99 | 411 | 420 | 172 | 129 | 477 | 336 | 252 |
| 漁獲尾数 | 4,301 | 1,729 | 26,565 | 26,154 | 4,015 | 6,225 | 14,843 | 16,252 | 17,051 |
| 平均漁獲尾数 | 53.1 | 17.5 | 64.6 | 62.3 | 23.3 | 48.3 | 31.1 | 48.4 | 67.7 |
| 放流尾数 | 52 | 15 | 255 | 343 | 138 | 169 | 235 | 190 | 225 |
| 再捕尾数 | 2 | 5 | 5 | 6 | 6 | 12 | 1 | 2 | 6 |
| 再捕率(%) | 3.8 | 33.3 | 2 | 1.7 | 4.3 | 7.1 | 0.4 | 1.1 | 2.7 |
| 県内再捕尾数 | 1 | 1 | 1 | 5 | 1 | 6 | 1 | 0 | 4 |
| (内河川再捕) | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 県外再捕尾数 | 1 | 4 | 4 | 1 | 5 | 6 | 0 | 2 | 2 |
| (内河川再捕) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |

| 年度 | 平成7年 | 平成8年 | 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 委託隻数 | 95 | 86 | 77 | 81 | 108 | 108 | 65 | 1,148 |
| 出漁隻数 | 28 | 28 | 38 | 37 | 32 | 20 | 28 | 490 |
| 延出漁日数 | 78 | 174 | 263 | 233 | 128 | 60 | 81 | 3,394 |
| 漁獲尾数 | 1,085 | 15,260 | 19,247 | 18,289 | 5,768 | 1,449 | 90 | 178,323 |
| 平均漁獲尾数 | 13.9 | 87.7 | 73.2 | 78.5 | 45.1 | 24.2 | 1.1 | 52.5 |
| 放流尾数 | 44 | 211 | 268 | 274 | 100 | 29 | 12 | 2,560 |
| 再捕尾数 | 1 | 22 | 12 | 4 | 2 | 0 | 0 | 86 |
| 再捕率(%) | 2.3 | 10.4 | 4.5 | 1.5 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 3.4 |
| 県内再捕尾数 | 1 | 4 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 32 |
| (内河川再捕) | 0 | 2 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 |
| 県外再捕尾数 | 0 | 18 | 7 | 2 | 2 | 0 | 0 | 54 |
| (内河川再捕) | 0 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 7 |